

あいたくて都市生活 に参加しました

- 豊岡市出石町日野辺地区のみなさん
 - 都市生活ヘルパーステーション
 - あ・し・す・と、あしすと武庫之荘
 - わくわくふれあい喫茶
- 農産物 お餅
パネル展示
介護相談
飲み物、クッキー

10月29日、サンボーホール(三宮)で生協都市生活主催「あいたくて都市生活」が開催されました。特定非営利活動法人都市生活コミュニティセンター(以下、TCC)は3つの企画で参加しました。一つは、豊岡市出石町日野辺地区のみなさんです。昨年に続いて農産物等を携えての参加です。去る2004年10月20日から21日に当該地区を襲った台風23号被害で「連合会きり組員」がカンパをしたり、TCCがボランティアバスを派遣したりしたことがきっかけで交流が生ま

れました。二つ目は、ヘルパーステーションあしすと武庫之荘とあ・し・す・と(垂水)です。パネル展示や合同で介護相談窓口を開きました。更に、ヘルパー総勢21名が各ブースに参入し、介護保険事業の営業を兼ねながら販売のお手伝いをしました。三つ目は、TCCで毎月第2木曜日の午後オープンしている「わくわくふれあい喫茶」です。ご自慢のコーヒー・紅茶などの腕前を披露し大盛況、また、この喫茶で販売している組合員手作りクッキーも好評でした。



日野辺地区の久木田明治氏のごあいさつ

2年前、平成16年10月の台風23号による大水害は日野辺地区に甚大な被害を及ぼしました。そのときに復旧作業のみならず、多くのお見舞いをいただいたことを、日野辺地区の私



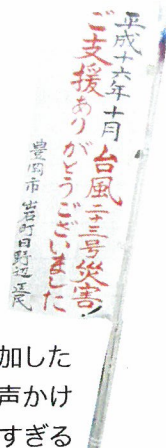
たちは絶対忘れません。きょうは、昨日ついた餅と、年寄りたちが育てた野菜を持ってきました。感謝を込めて、今日一日よろしくお願いします。(構成 TCC)

日野辺地区のみなさんの感想

●大変、内容の充実した催しでした●早く完売でき、楽しい思い出をしました。●楽しい一日でした。●楽しい一日でした。また来ます。●楽しく、和気あいあいと全部買っていただきありがとうございます。●楽しい一日を過ごさせて頂きました。●昨年同様に多くの人と出会い持参した物品が早く完売しホッとしました。一日(半日?)楽しく過ごすことができました。来年も参加したいと思います。有難うございました。●今年もお声かけいただきありがとうございます。もち、柿は多すぎる



かもと思いましたが、全部完売できました。楽しいひとときを過ごせました。生協生産品と一般市場品との違い、特徴を生かした売り方があると感じました。また来年も来ます。



富岡教子(ミュージックセラピーグループ ハーモニー)

私はTCCの喫茶コーナーをお手伝いしました。メニューはアイスコーヒー・アイスルイボスティ・コーヒー・紅茶。10月にしては暑かったので冷たい飲み物に人気があるかしら?と想着ていましたが、予想に反してホットコーヒーがよく売れて一時は行列ができる程でした。お目当ての買い物を済ませて昼食を済ませた後のブレイクタイムにはやはり「HOT」なんですね!手作りのクッキーも好評で完売しました。ただコップをお持ちでない方に紙コップ代10円が必要だと説明するのが少々大変だったかな~と思いました。



中野智恵(訪問介護員)

一目で「あしすと」の活動とわかるように、みんなで手作りのタスキとエプロンを用意しました。

私は主に会場入り口のところで、タスキをかけて広報活動(チラシまき)をしました。開場前に大行列ができていて3人~4人がかりでほとんどくまなく配りました。同じ生協の組合員ということで受け取る人も快く持ってってくれたように思います。手にとって目をやる姿も多かったです。男性の方も



興味深く見入っておられました。成果の出るのが楽しみです。



特定非営利活動法人都市生活コミュニティセンターは11月12日(日)「健康まつり」に参加しました。主催はろっこう医療生協健康まつり実行委員会。会場は神戸市中央区にある筒井公園。コーヒー、紅茶、クッキー、お菓子の詰め合わせ袋入りを販売しました。

武藤裕子(ボランティアスタッフ)

11月12日、喫茶コーナーで参加しました。各グループが豚汁・たこ焼き・焼きそばやあてもなどを出す中、途中で少女たちのサンバあり、ギター演奏ありで盛り上がります。各年齢層がいい具合に集まっています。お腹が一杯になると喫茶が活躍、ドリップコーヒーの香りがたどよい、クッキーも紅茶もどんどん出ていきます。一緒にTCC・すまいる喫茶・あしすと・生協都市生活のパンフレットもお客様に手渡されます。最後はお祭りに集ったみんなのコーラスで無事終了です。

介護保険制度には「介護サービス情報の公表」という仕組みがあります。事業所自身で情報公開を行い、利用者はその情報を活用しながら事業所を選択できるよう、環境整備を行うというものです。

兵庫県では毎年一回、この情報の公表を行っています。

まず、県から送られてくる調査票に、サービス内容や運営状況など、必要事項を記入して提出します。報告内容のうち「名称」「所在地」「サービス従業者の数」などといった基本情報は、調査票に記載したものがそのまま公表されます。一方「利用者本位のサービス提供の仕組み」「従業者の教育・研修の状況」などについては、県知事の指定する調査機関が、調査票に書かれていることが事実かどうかの事実確認調査にやってきます。

といっても調査機関が長期間、事務所に密着取材するわけにもいきません。そのため活動や研修の記録、マニュアル類など、報告事項の根拠になる資料がきちんと整備されているかどうかを確認することになります。

ヘルパーステーションあ・し・す・とでは、この報告と調査が9～10月にかけて行われました。調査情報の項目は70以上もあって、その一つごとに関連する書類が備えられているかどうかを問われます。普段の業務に用いている書類のどれがどの調査項目に対応するのか、整理するだけでもなかなか大変です。

この際なので、ふだん用いている書類を再点検し、今後のためにも改善点の見つかったものについては改定してしまおう……という意気込みで臨みはしたものの、9～10月はちょうど事務所の移転の時期。かなりドタバタする中でしたが、調査自体は10月20日に無事終わることが出来ました。

福田和昭(都市生活コミュニティセンター事務局)

料理 研修

あしすと武庫之
荘で毎月1回行
っている研修
の報告です



5回目 秋を感じる「きのこカレー御膳」

- きのこカレー
- スイートポテトサラダ
- 大根あっさり漬
- 小松菜とエノキ煮浸し ○福神漬
- 充実ゼリー
- 旬の果物(なし、柿)

平均年齢88歳
利用者様希望でカレーに
なりました。

本日の感想
「もっと、辛くてもいい」



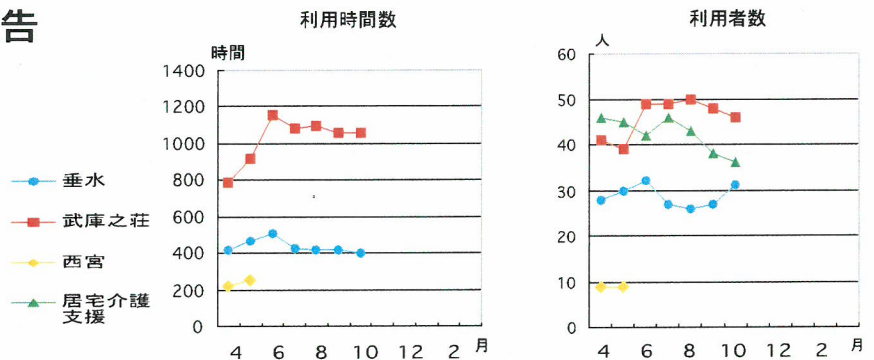
あしすと武庫之荘 佐々木京子

2006年度☆介護保険事業報告

★あ・し・す・と(垂水)

★あしすと武庫之荘(尼崎)

- 現在、2つの事業所を拠点に都市生活組合員が中心となってヘルパー派遣事業を行っています。(あしすと西宮は6/1をもって、あしすと武庫之荘と統合しました)
- 武庫之荘では居宅介護支援事業(ケアプラン)、障害福祉サービス事業も行っていきます。



『鍋の会』は引きこもりや神経症の若者のグループセラピー、また他人との会食の機会の少ない若者が集まって鍋を囲み、団欒の楽しさを知り、対人恐怖を拭い去る、そして段階的に社会性を身につける場です。

● <鍋の会>

毎月第2・第4日曜日午後1時～5時 主催(特)ニュースタート事務局関西
場所=新・共同生活寮(新・ドミトリ) JR摂津富田駅から徒歩5分

詳しくは <http://www.ns-kansai.org/index.html>

又は電話&ファックス 072-694-3933 までお問い合わせください。